

秋田県第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画の進捗状況

指標	単位	計画策定時の現状値		目標値		実績値		取組状況等
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	
要介護3以上の者（75-84歳）が被保険者に占める割合	%	R2 10月	6.11	R5	5.87	R5 10月	5.26	—
要介護2以上の者（65-74歳）が被保険者に占める割合	%	R2 10月	2.04	R5	1.83	R5 10月	2.08	—
「通いの場」への参加率	%	R1	4.1	R7	8.0	R4	5.6	地域の新たな通いの場の開発等を担う「生活支援コーディネーター」の活動を支援するための研修や情報交換会等を継続的に開催したほか、市町村と協働し、通いの場におけるコグニサイズの普及のためのモデル事業を実施した。
地域ケア会議、介護予防・日常生活支援総合事業に係る支援【インセンティブ】	点	R2	90	R5	全国平均 (R2全国平均 206.3点)	R5	5点 (5点満点) (全国平均4.4点)	地域ケア会議に係る司会者向け、専門職向けの基礎研修に加え、令和5年度からは個別会議により抽出した地域課題を施策形成につなげるための実践研修等に取り組んでいる。知見を有し、会議の運営を支援する「自立支援・介護予防普及アドバイザー」を育成、派遣した。
自立支援・重度化防止等に向けたリハビリテーション専門職等の活用に係る支援【インセンティブ】	点	R2	75	R5	全国平均 (R2全国平均 87.0点)	R5	4点 (12点満点) (全国平均9.2点)	リハビリ専門職の派遣を希望する市町村に対して、専門職士会との連携の下派遣調整に取り組んでいる。（秋田県社会福祉協議会への委託） 県リハビリテーション専門職協議会への補助事業による人材育成、包括支援センターへの人材協力の促進に取り組んだ。

指標	単位	計画策定時の現状値		目標値		実績値		取組状況等
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	
高齢者等が住み慣れた地域でニーズに合った介護・福祉サービスを受けられることができる（県民意識調査）	5段階評価	R2	2.92	R5	3.00	R5	2.71	—
在宅医療・介護連携に係る支援【インセンティブ】	点	R2	50	R5	全国平均 (R2全国平均 128.9点)	R5	76 (100点満点) (全国平均76.6点)	市町村及び地域包括支援センターの職員向けに研修会を実施した。 令和3年度から県医師会が実施する在宅看取りやアドバンスケアプランニングの普及啓発等に関する多職種向け研修会や住民向け説明会等の実施に係る経費への助成を行った。
認知症総合支援に係る支援【インセンティブ】	点	R2	28	R5	全国平均 (R2全国平均 69.6点)	R5	68 (100点満点) (全国平均74.6点)	認知症の方のニーズや県や市町村の認知症施策の進捗状況や課題の把握を行い、施策に反映するよう努めた。
生活支援体制整備等に係る支援【インセンティブ】	点	R2	55	R5	全国平均 (R2全国平均 86.9点)	R5	7点 (10点満点) (全国平均8.7点)	生活支援コーディネーターの活動を支援するため、生活支援体制整備事業の概要を学ぶ基礎研修、通いの場等の立ち上げに係る応用研修、コーディネーター同士の情報交換会の開催などに取り組んだ。
チームオレンジの設置数	市町村	R1	1	R7	25	R5	5	未設置市町村には、個別の事情に併せた支援、情報提供を行っている。また、オレンジコーディネーター研修を開催し、チームの立ち上げや企画に必要なコーディネーターの養成を行っている。
市町村における「認知症ケアパス」作成率	市町村	R1	20	R7	25	R5	23	作成状況の確認、認知症ケアパスに変わる対応等について、確認を行っている。
市町村独自の高齢者虐待対応のマニュアル、業務指針等の作成に取り組む市町村数	市町村	R1	17	R5	25	R4	21	調査結果の周知や研修参加の働きかけ等を行いマニュアル作成を促してきたが、小規模市町村においてはマンパワーの不足等により実施できていない。
歩道段差解消箇所等率	%	R1	88.5	R5	89.0	R4	90.1	道路施設の補修等により一部区間の段差等を解消した。
県有施設のバリアフリー化率	%	R1	51.1	R5	55.0	R4	54.2	県有227施設を対象にバリアフリーの状況に関する調査を行った。
バリアフリー適合証の累積交付数	件	R1	1,243	R5	1,440	R4	1,298	秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例に適合する13施設に、適合証を交付した。

指標	単位	計画策定時の現状値		目標値		実績値		取組状況等
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	
秋田県の介護職員数	人	R1	22,602	R5	23,998	R4	22,878	介護人材確保対策の「多様な人材の参入促進」については、介護従事者新規就労支援として、入門研修や基礎講習会の開催のほか、介護人材確保推進員4人を配置し人材確保につながる活動を行った。 「職員の資質向上」については、介護福祉士や介護支援専門員等の資質向上のための研修などを実施した。 「労働環境・処遇の改善」については、介護職員の処遇改善や人材育成に積極的に取り組む事業所を評価・認証する認証評価制度の普及に取り組んだほか、介護ロボット・ICT等を導入する事業所への支援を行った。 「外国人材の受入環境整備」については、事業所の経営者等向けのセミナーや外国人を対象とした介護入門研修を開催した。
介護サービス事業所認証評価制度による認証事業者数	事業者	R1	45	R5	80	R5	70	専門セミナー、スキルアップ研修や個別相談会の開催など、認証取得に向けた支援を実施している。
認証評価制度参加宣言事業者数（累計）	事業者	R1	105	R5	200	R5	130	制度説明会や介護人材確保推進員の事業所訪問等を通じて制度の普及啓発に努めている。 令和4年度に参加宣言期間の満了を迎えた事業者が多く、宣言事業者が大きく減少したが、令和5年度は、新たに22事業者が宣言を行っている。
介護職応援サイトアクセス数（毎年度）	回	R1	24,913	R5	30,000	R5	41,511	介護職員のインタビュー記事や介護職の紹介動画等のコンテンツを制作・掲載し、介護職の魅力や認証評価制度に関する情報を発信した。
介護の職場体験者数（毎年度）	人	R2	100	R5	150	R5	55	県内の中学・高校のほか、関係機関、コンビニ等で事業周知を図っている。
介護の魅力発見事業開催校数（毎年度）	校	R2	15	R5	30	R5	24	県内の中学校・高校等で介護ロボット等の見学体験会を行っている。
主任介護支援専門員研修修了者数（毎年度）	人	R2	91	R5	90	R5	74	介護職員等の資質の向上に向け、介護技術向上のための研修、介護支援専門員の資質向上研修、主任介護支援専門員に対する指導力等向上研修、個別ケアの普及を図るための研修等を実施するとともに、関係団体が開催する研修を支援し、職員の資質の向上を図っている。
介護ロボット等導入推進支援事業活用事業所数（累計）	事業所	R2	45	R5	180	R5	224	予算を増額し、導入の推進を図っている。 (R4:67,000千円→ R5:150,000千円) 令和4年度に補助率を拡大している。

指標	単位	計画策定時の現状値		目標値		実績値		取組状況等
		時点	数値	時点	数値	時点	数値	
被保険者1人あたりの介護給付費（年齢調整後）	円	H30	21,530	R5	20,390	R3	22,279	—
業務としてたん吸引等ができる職員数（累計）	人	R2 10月	1,026	R5	1,500	R5	1,349	指導看護師養成研修を実施し、令和3年度は33名、令和4年度は37名、令和5年度は27名が修了している。 実地研修が安全に実施されるよう手技確認講習を実施し、令和3年度は57名、令和4年度は21名、令和5年度は29名が修了している。
ユニットリーダー研修の実地研修施設数	施設	R2	0	R5	1施設以上	R5	0	各施設に委託先で実施している「実地研修施設を目指すセミナー」の案内を行ったほか、当該セミナーに参加歴のある事業所に個別に聞き取りを実施した。 R6.3.6の選定委員会において、2施設が合格となったため、令和6年度は県内2施設が実地研修施設として稼働する予定。
要介護認定の適正化に取り組む保険者数	保険者	R2	21	R5	22	R5	21	厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づいた聞き取りを実施したほか、随時適正化に関する情報を提供した。 要介護認定適正化技術的助言事業の調整や、認定調査員研修（新任者研修、現任者研修、介護認定審査会委員及び主治医研修）を実施した。
ケアプランの点検に取り組む保険者数	保険者	R2	21	R5	22	R5	21	管内保険者介護保険担当職員を対象とした研修会を実施し、ケアプラン点検のポイントや先進的取組事例を紹介した。 厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り・助言等を実施した。
住宅改修の点検に取り組む保険者数	保険者	R2	22	R5	22	R5	22	福祉用具点検及び住宅改修点検のポイントについての解説動画を作成し、保険者のスキルアップを図った。 厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り・助言等を実施した。
福祉用具購入・貸与調査に取り組む保険者数	保険者	R2	21	R5	22	R5	21	福祉用具点検及び住宅改修点検のポイントについての解説動画を作成し、保険者のスキルアップを図った。 厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り・助言等を実施した。
医療情報との突合に取り組む保険者数	保険者	R2	22	R5	22	R5	22	厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り等を実施。介護給付適正化研修会において、情報を提供した。
縦覧点検に取り組む保険者数	保険者	R2	22	R5	22	R5	22	厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り等を実施。介護給付適正化研修会において、情報を提供した。
介護給付費通知に取り組む保険者数	保険者	R2	18	R5	20	R5	17	厚労省実施「適正化実施状況調査」等に基づく聞き取り・助言等を実施。介護給付適正化研修会において、情報を提供した。